

2011年3月28日

日本内分泌学会  
会員 各位

日本内分泌学会  
理事長 森 昌朋  
第84回日本内分泌学会学術総会  
会長 松本 俊夫

謹啓

東北関東大震災で被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになられた方々のご冥福と被災地域の一日も早い復興をお祈り致します。

今回の未曾有の大震災と津波による甚大な被害に加え、その後の福島第1原子力発電所事故による放射性物質の放出と深刻な電力不足などにより、広汎な地域・社会で大きな混乱と不安が生じています。この計り知れない被害から回復し、わが国に再び活気と平穏が甦るまでには、相当の長期間と膨大な経費を要するものと推定されます。

このような社会状況の中で、被災地とその周辺の会員の方々からのご意見の聴取なども行い、第84回日本内分泌学会学術集会の開催について慎重に検討を重ねて参りました。その結果、現在私達が社会に果たすことのできる貢献として、会員の生涯教育・研修および情報交換という最も重要な学会の機能を発揮する場である学術集会を開催し、会員皆様の内分泌代謝学に関する臨床・研究の向上を図ることが重要であるとの結論に達しました。

開催を予定しています神戸は、16年前の阪神淡路大震災で甚大な被害を被ったものの、全国の皆様からの暖かいご支援により今日復興を果たすことができました。幸い、西日本に位置する神戸では電力不足も交通や流通の障害もなく、会員の皆様の安心してお迎えすることが可能です。かつての被災地・神戸で学術集会を開催することを通じて、東北関東大震災からの復興を祈念するメッセージを発信する場とすることが出来れば何よりと考えております。

なお、被災地での医療に専念されたり、自ら被災されるなど様々な障害のため本学術集会にご参加頂くことが不可能な会員の方々も多数居られるものと思います。これらの会員の皆様については、専門医認定期間の延長などを含めた対応を検討しております。また、学術集会においては懇親会や市民公開講座などは中止させて頂き、運営経費の節約になるべく努め、その残額が生じた場合には参加者からの義援金と共に被災地に全額寄付させて頂きたいと考えております。詳細につきましては後日学会ホームページに掲載させて頂きます。

可能な限りの会員の皆様にご参集頂き、一日も早い復興に向けての大きな一歩を記す学術集会となることを祈念しております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹白